

事業報告書
ANNUAL REPORT

令和5年度 '23.4～'24.3

一般社団法人 中部産業連盟

事 業 報 告

(2023年4月1日～2024年3月31日)

はじめに

令和5年度（2023年度）企業を取り巻く経営環境は、新型コロナウイルス感染症によるパンデミックもようやく落ち着き、経済活動も正常化に向う中で、景気は緩やかな回復基調となった。一方で過去数年を振り返ると、パンデミックの発生や、地球温暖化に伴う気候変動が及ぼす異常気象、台風や地震といった自然災害、地政学的リスクから生じるサプライチェーンの混乱など、予測が困難な事象が次々と起こっている。まさに不確実性の時代である。経済活動もユーザーの嗜好や購買プロセスが変わり、コロナ前には戻らない部分も明らかになってきた。情報があふれる時代に、その真贋を見極め、新たな潮流を把握し、あらゆるリソースを活性化していかに企業を成長させていくか。また、経営の舵取りと新たな事業や新製品をいかに軌道にのせることができるか、いわゆる企業のマネジメント力が問われている。

国内では、生産年齢人口が20年後には22%減少し、73百万人から57百万人に減少すると推計され、中長期的な展望に立つと人材確保と育成が最重要経営課題となっている。

中部産業連盟は、創立75周年を迎える記念事業として実施した経営後継者養成アカデミー記念講演・交流会のほか、マネジメント大会、人材育成フォーラムなどの行事を開催した。今後も引き続き産業界の発展に貢献することを目的に「大変革期を生き抜く」その舵取りと人づくりのためのコンサルティング事業ならびに各種人材育成事業を、会員企業654社を中心としたご支援、ご協力のもと、企業価値の向上と経営力強化を目指し積極的に推進した。

令和5年度事業として、コンサルティング事業（552件、審査認定事業540件）の経営革新（国内人事・総合）系では経営環境の予測が難しい時代に伴い、企業の中長期経営計画策定、人材マネジメント改革、人事制度再構築、業務効率化などに関するコンサルティングをほぼ計画どおりに実施した。特に企業価値創造を実現する新事業および新製品のマーケティング計画立案とその実行支援、BCP（事業継続計画）の策定支援、エネルギー・生産工程・生産技術の専門家によるカーボンニュートラル支援サービスに対する案件が増加した。生産・業務改革（生産・ISO）系では製造業に対し、品質向上、生産性向上、原価低減、リードタイム短縮及び在庫削減を目的とした生産システム改善、生産現場改善、デジタル活用による自動化、

効率化、SDGs導入支援などのコンサルティングや金融機関・投資ファンドと連携した事業再生・再構築支援、ISO・VDA等の認証支援、Pマーク認定審査事業、VM（ビジュアルマネジメント=見える経営）活動による経営革新、生産革新などを実施した。コンサルティングのスタイルも多様化し、現地現物現実のリアルとリモートを組み合わせたハイブリッドで企業に寄り添ったサービスを提供した。

また、セミナー事業（企業内）は、個別企業のニーズに対応した経営層から管理・監督者、担当者、新入社員までを対象とした階層別研修、機能・分野別研修などを598件、積極的に実施した。

一方、セミナー事業（公開）は、経営後継者育成塾、木曽駒塾、経営を担う次世代リーダー塾、管理能力向上プログラム、テーマ別研修、中小企業の人材確保支援事業（シニア人材）、ミカタプロジェクト（自動車部品サプライヤー事業転換）支援事業、モノづくり企業を中心にトヨタ生産方式関連としてTPS研究会、新たな価値を生み出す「両利きの経営」のすすめ、女性活躍推進、モノづくりITブリッジ人材育成プログラム、中小企業診断士登録養成課程、公開セミナーは階層・対象別に営業、設計、生産・製造、品質、購買・調達、ビジネススキルの幅広いテーマで実施した。フォーラム・大会は、中部VE大会、中産連マネジメント大会、VMカイゼン事例発表大会、先進工場見学会、自動車産業フォーラム、人材育成フォーラムを実施した。ISO、IATF、VDA、JFS関連の研修はISO・VDAに関する規格の解説セミナー、内部監査員養成研修などを計428コース実施した。コンサルティング同様、研修についてもオンラインで知識を習得するとともに理解を深め、リアルで見識と胆識を磨くハイブリッド研修をほぼ計画どおり実施した。

また、海外洋上研修「創造の船」は中止し、国際協力事業は、受入事業、海外派遣事業を下期より再開した。

環境パートナーシップCLUB（EPOC）など受託事務局事業を実施した。また、会員サービス事業として、会員懇話会を対面開催のほか、ビデオ・オン・デマンドにて年10回開催、無料経営・法務相談室の設置、機関誌「月刊プログレス」の発行などを通じて新しいマネジメントの提言、企業戦略の紹介など実践的で関心の高いテーマについて情報発信・交流活動などに取り組んだ。

令和5年度 事業活動実績ならびに業務報告

目 次

I. 分野別事業活動

1. コンサルティング事業	1
2. セミナー事業（企業内）	9
3. セミナー事業（公開）	13
4. 国際協力事業	21
5. 受託事務局事業	22

II. 業務報告

1. 会 勢	27
2. 会 議	27
3. 庶 務	29
4. 協力活動	29
5. 役・職員の対外的協力活動	29
6. 会員支援	30

I. 分野別事業活動

中産連では、次の5事業を実施、各事業については事業部別に報告。

1. コンサルティング事業
2. セミナー事業（企業内）
3. セミナー事業（公開）
4. 国際協力事業
5. 受託事務局事業

1. コンサルティング事業（552件、審査事業540件）

(1) 中産連マネジメント研究所

新たなコンサルティング手法の研究および事業の開発を実施。また新たにオピニオンの発信を開始。

1) カーボンニュートラル事業の支援

- ・コンサルティングに必要な資格取得
- ・カーボンニュートラルファクトリー商品開発

2) ダイバーシティ推進事業の実施

- ・中堅・中小企業における製造業の女性活躍推進のコンサルティングおよび企業内研修の実施
- ・管理間接部門におけるT P Sに基づく業務改善講座の実施

3) 新事業創造のマネジメント研究と発信

- ・下期発信に向けての研究・調査実施

4) その他の研究開発テーマの支援と管理

- ・デジタルマーケティングのノウハウ習得
- ・中産連リスクリキング事業の方針決定

5) オピニオン発信

- ・中産連マネジメント研究所「note」開設及び記事を掲載

6) マネジメント大会実施への準備

- ・異業種交流会（人材系・環境系）の企画開催支援

(2) 生産・業務改革コンサルティング事業部

製造業を中心とした生産計画システムの構築、原価管理システムの構築、I S Oマネジメントシステムの構築、原価低減、品質向上、生産性向上、在庫削減とリードタイム短縮、B C Pや労働安全衛生におけるリスクマネジメントなどをテーマとした仕組みの構築、現場改善、業務改善、標準化などの支援を実施。またこれらの改善活動を通した企業風土改革や人材育成も推進。製造業の支援で培ってきたノウハウを介護市場等の異分野にも横展開。

1) 診断・調査

事業の運営状況や現場の操業状況を確認し、報告書にまとめ、具体的な問題点と課題解決への道

筋をつける助言を数多く実施。その多くをコンサルティング支援の提案に結び付けた。

- ・企業から依頼されたテーマ別診断・調査（生産総合診断、テーマ別診断）
- ・コンサルティング提案前の予備診断
- ・金融機関から紹介を受けての診断（事業診断、生産診断、その他）

2) テーマ別の改善支援

提案内容や依頼事項に基づいたコンサルティング支援を数多く実施。単に助言するだけでなく、実行や実現に至るまでのサポートやOJTも手厚く対応。また改善指標やアウトプット作成計画などに基づく成果の把握と共有化も行うことで、顧客満足度の向上を図った。

- ・管理システムの構築支援（生産計画システム、原価管理システムなど）
- ・収益向上、コストダウンの推進支援（売上向上、各費目の原価低減など）
- ・生産性向上の推進支援（トヨタ生産方式とムダとり、IE、生産技術改善など）
- ・品質・歩留向上（データ解析とQC的問題解決、再発及び未然防止対策、技術改善）
- ・在庫削減とリードタイム短縮、流れ化の改善、納期遵守の改善
- ・設備保全の強化（故障防止、チョコ停低減、予防・予知保全）、省エネ改善
- ・設計管理の強化（DR、FMEA、FTA、QFDなど）
- ・労災リスクの低減（アセスメント、KYTなど）
- ・SBT認定、GHG算定、省エネ診断などのゼロカーボン推進支援
- ・新工場の建設、新設備導入、自動化、IT化、ソフトウェア選定などの助言
- ・人材育成（管理監督者および一般社員に対するOJTとOFF-JT）
- ・経営計画策定、販路開拓、新規事業立上、補助金申請などの経営支援

3) 國際標準化の認証取得支援、取得後のレベルアップ支援

- ・ISO9001、ISO14001、ISO27001、ISO45001
- ・HACCP、JFS食品関連規格
- ・IATF16949
- ・VDA6.3

4) 官公庁・自治体からの受託事業

BCP構築支援を中心に、以下の受託事業を受注し実施。

- ・岐阜県「BCP策定支援委託業務」
- ・神奈川県「介護施設等防災リーダー養成研修事業委託」
- ・高知県「福祉・介護事業所事業継続計画策定支援事業委託」
- ・厚労省「介護施設等における感染症の感染対策及び業務継続計画（BCP）策定に係る調査研究及び当該調査研究を踏まえた研修業務一式」

(3) 経営革新コンサルティング事業部

1) 総合

中期経営計画の策定、人材マネジメント改革、業務効率化などに関するコンサルティングを幅広く実施。今年度は経営環境が予測しづらい中の経営ビジョンづくりや人材確保・育成に苦慮する企業への人材育成などに関する案件が増加。

①中期経営計画の策定

5年程度の将来を想定した経営ビジョンや中期経営計画の策定支援を実施。独自開発の「VICTOR手法」を活用し、経営環境分析からビジョンづくり、中期経営計画、実現までのロードマップづくりなどを支援。

あわせて新事業開発など策定した中期計画を実践するためのプロジェクト推進やそれに必要な人材の発掘・育成も支援。

- ・全社レベルの中長期経営計画の策定
- ・新規事業開拓プロジェクトの推進支援
- ・イノベーション人材の育成
- ・行動規範、パーカスの策定
- ・管理者の行動改革

②人材マネジメント改革

人材育成や人事評価、目標管理などのコンサルティングを実施。新規雇用や社員の定着率向上を目指し、働く意欲向上を志向するものが多数。

- ・人材育成を進めるための全社的な人事制度改革
- ・エンゲージメント調査と心理的安全性の高い組織風土改革の推進支援
- ・若手社員向けキャリア計画の導入フォロー
- ・リスキリングに向けた教育体系構築
- ・シニア社員の活躍を推進する人事制度改革

③管理・間接部門の業務効率化

業務効率化や業務共有化を支援。業務棚卸から業務分析、効率化、共有化までの一連の効率化プロセスを推進するとともに、業務共有化に向けた職場単位の対話、ITツール活用を支援。

④金融機関、支援機関との連携によるコンサルティング

金融機関、支援機関と連携し、多業種の製造業に対して経営診断および生産診断を行い、企業のニーズにもとづいたコンサルティングを実施。

- ・生産簡易診断→診断報告会→コンサルティングの実施
- テーマは、経営計画の策定、収益改善に関わる売上向上とコストダウン推進（生産性向上、不良・歩留改善、省エネ化等の経費削減、業務効率化による省人化）、キャッシュフローの改善（在庫削減とリードタイム短縮）、人材育成。

2) 事業再生・企業経営力強化の経営計画策定およびコンサルティング

①金融機関等と連携を行い、企業価値向上・経営力強化および具体的テーマのコンサルティングやモニタリングを実施。

- ・経営診断、事業診断、工場診断
- ・経営改善計画策定支援
- ・事業経営基盤強化支援
- ・収益性向上改善活動の支援
- ・事業デューデリジェンスの実施

②都道府県の中小企業再生支援協議会「経営改善支援センター」の認定支援機関として、経営改善計画の策定支援およびコンサルティングを実施。

③「ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金」「事業再構築補助金」「省エネルギー省CO₂補助金」など中小企業向け補助金関連のコンサルティングを実施。

3) Global GAP（農業生産工程管理）認証審査および実践研修

Global GAP認証審査サテライト機関より委託を受け、農業生産法人などに対して審査を実施。

4) カーボンニュートラル支援事業

①豊田市カーボンニュートラル取組促進業務受託

- ・相談窓口
- ・個別訪問調査
- ・個別コンサルティング（省エネ診断、LCA、脱炭素製品企画）

②省エネ診断

受託事業（経産省中小企業等に向けた省エネルギー診断拡充事業、環境省SHIFT事業）も含め、省エネポテンシャルを提案。

③製品のCO₂排出量算定支援

我が国標準のソフトウェアを使って算定を支援。

④脱炭素計画策定支援

投資計画も含めて、中長期にわたる脱炭素計画の策定を支援。

⑤三重県、福井県などの産業団体にてカーボンニュートラル講演会を実施。

(4) マネジメント研修事業部

1) マネジメント研修部

ものづくり企業の価値創造のために、生産現場改善をはじめ、生産技術／製造技術力向上、新商品開発力獲得、職場風土づくりなどに資するコンサルティングを実施。

- ・中期経営計画
- ・全社生産革新活動
- ・現場改善力向上活動
- ・新規事業開発活動
- ・経営ビジョンから中期計画の策定とその展開活動による人材育成
- ・ビジョン共有による活性化活動
- ・人事制度再構築
- ・補助金申請サポート
- ・品質向上
- ・総務業務改善プロジェクト
- ・経営人材マネジメントコンサルティング

2) ISO研修部

ISO、IATF、VDA、JFS規格については、認証取得／是正対応など一貫した支援を実施。規格の改訂情報はいち早く入手し常に最新版の情報にて対応。オンラインを活用し、シンプル

で各企業の実情に沿ったシステムの構築を実現。

- ・ I S O 9001
- ・ I A T F 16949
- ・ V D A
- ・ I S O 14001
- ・ I S O 22000
- ・ I S O 45001 (含 O H S A S)
- ・ I S O 27001
- ・ J F S - A / B (日本版食品安全規格)
- ・ B C P
- ・ 業務改善
- ・ ビジネススキル

(5) マネジメント開発事業部

1) 生産・業務革新推進部

①トヨタ生産方式をベースとした生産現場改善、生産技術・製造技術力強化とそれを支える人材育成に関するコンサルティングの実施。

[現場力改善]

- ・ 生産現場力改善
- ・ 生産管理改善
- ・ 全社生産革新活動
- ・ 自主研究会方式による生産現場改善活動
- ・ 生産効率の最大化を狙った工場のレイアウトとモノの流し方改善
- ・ からくり改善の全社活動

[人材育成]

- ・ モノづくり中核人材育成プログラム (部課長・係長)
- ・ T P Sに基づく管理職育成プログラム (部長・課長)
- ・ 次世代リーダー育成プログラム
- ・ T P Sに基づく現場改善・業務改善推進者育成プログラム

②管理間接部門における業務改善コンサルティングの実施

③女性活躍推進 管理職育成コンサルティングの実施

④メンタルヘルス／ハラスマント相談窓口の設置

⑤ビジョン構築と実践活動支援の実施

2) 経営革新推進部

[経営改善支援]

- ・ 中期経営計画達成 P J
- ・ 原価管理システム再構築支援コンサルティング
- ・ 経営計画策定支援コンサルティング

- ・拡販支援コンサルティング
- ・見える化による在庫管理及びスキル管理の改善コンサルティング

[現場力改善]

- ・生産現場力改善
- ・全社改善活動支援
- ・品質改善推進
- ・生産現場のムダ取り支援

(6) 東京事業部

直接クライアントにて指導するコンサルティングに加え、オンラインによるコンサルティングを取り入れながら、事業を展開。

1) 「経営」「人材」「職場」の3つの視点からのコンサルティング

- ・VM (Visual Management=見える経営) による改革（経営革新、収益性改善等）
- ・V M – F M S (Visual Management-Flexible Manufacturing System=見えるフレキシブル生産システム) 確立による生産革新
- ・I T、I O T、D X活用による生産革新
- ・管理会計システム活用によるコストダウン活動
- ・5S活動の推進
- ・管理、間接部門のO V M S (Office Visual Management System=5S・ファイリング・VM) の推進
- ・人事制度の構築支援と組織の活性化
- ・賃金制度、役割主義人事制度の導入、コンピテンシー評価制度の導入
- ・組織風土改革
- ・ケースメソッド作成支援
- ・自律度診断及び自律型社員を育てる研修体系作成支援
- ・自律型職場づくりワークショップによる職場力開発支援
- ・中小企業の事業再生
- ・I S O (9001、14001、27001等) 認証取得、改訂対応、統合支援
- ・食品安全管理体制構築支援 (J F S – B、I S O 22000、F S S C 22000、G G A P等)

2) 業務協力によるコンサルティング

①金融機関（政府系、民間）の総合研究所及びシンクタンクと業務協力し、民間企業に対するコンサルティングを受託し、共同で実施。

②各省庁・行政機関及び関係団体などの公的機関から依頼を受け、地域の中小企業に対するコンサルティング活動、研修事業を実施し、人材育成と企業の発展に協力。

(7) 社会貢献事業部 Pマーク審査部

1) Pマーク審査事業

プライバシーマーク指定審査機関（付与機関：J I P D E C）として、主に中部地区（愛知県、岐阜県、三重県、石川県、富山県、静岡県、長野県）の事業者に対して、プライバシーマーク付与

適格性審査（新規／更新／合併等）を実施。本年度は540社の審査を実施。
プライバシーマーク制度説明会や内部監査研修を実施。

リモート審査やWeb会議を導入し、審査業務、Pマーク審査基準説明会、審査員研修会を実施。

2) 受託事業

東京都から「特定個人情報保護評価書審査支援等業務」を受託し、計画通りに実施。

[研究開発事業活動]

1) 令和5年度（公社）全日本能率連盟 顕彰者

顕彰牌 小栗 義裕、橋本 豊、丸田 大祐

2) 職員の発表論文と受賞状況

2023年度 全能連マネジメント・アワード

・全能連マネジメント大賞受賞

「VM（ビジュアルマネジメント）賞の開発と成果」

伊東 辰浩、吉田 修二、砂田 貴将、菊地 俊之

・コンサルタント・オブ・ザ・イヤー受賞

「中小企業における『事業承継時の組織変』のポイント

～経営者に依存したトップダウンから、トップダウンとボトムアップの共存へ～」

小城 紘一

・特別賞受賞

「災害時に実際に役立つBCP（事業継続計画）作成方法の開発と普及」

前田 和彦

3) 専門書、専門誌などの活動

・人材育成関連テーマのコラム執筆 中部経済新聞

原 裕二（令和5年5月、7月、11月、令和6年2月）

・「工場管理」日刊工業新聞社 令和5年6月号

「不確実性の時代こそ！工場マネジメント革新」

小坂 信之、佐藤 直樹、丸田 大祐、鈴木 秀光、伊東 辰浩、藤田 伸之、

小島 康幸、小坂 智徳、菊地 俊之、砂田 貴将

・「工場管理」日刊工業新聞社 令和5年10月臨時増刊号

「新モノづくり企業の品質管理大事典」

小坂 信之、佐藤 直樹、黒田 啓介、鈴木 秀光、丸田 大祐、伊東 辰浩、

小島 康幸、菊地 俊之、小坂 智徳、砂田 貴将

・「商工ジャーナル」商工中金経済研究所

「食品工場におけるアレルゲンの管理」

伊東 辰浩（令和5年5月）

「計数マネジメントの概要と活用事例」

野村 佳伸（令和5年7月）

「小規模企業の採用の考え方と進め方」

柘植 吉則（令和5年9月）

「論理的思考力を高める“なぜなぜ分析”訓練法」

今野 翼（令和5年11月）

「製品販売価格のはじめに向けた取り組み」

山口 郁陸（令和6年1月）

「ベテランにしかできない仕事をIT技術で自動化」

中西 渉（令和6年3月）

- ・「環境マネジメントモデル規定・文例集」(共著) 新日本法規出版 梶川 達也 (令和5年4月)
- ・「環境規制・基準チェックの手引き」(共著) 新日本法規出版
梶川 達也、岩崎 雅之 (令和5年5月、11月)
- ・(一社)情報処理学会 学会誌「情報処理」 令和5年11月号 Vol. 64 N0 11
「日々変化する情報セキュリティリスクに対応し続けるため、情報セキュリティ管理の構築と実践」
青山 誠 (令和5年11月)
- ・S M B C Netpress
「これだけは押さえておきたい カーボン・ニュートラル戦略と排出量取引の活用」
梶川 達也 (令和5年4月)

4) 中産連マネジメント大会

当連盟所属コンサルタントが、日頃の活動を通したマネジメント手法やポイントを紹介。

第36回マネジメント大会

開催日：令和5年11月21日

会場：メルパルク名古屋

大会テーマ：「～2050年の未来に向けたマネジメントの提言～」

参加人数：167名

- ・異業種交流会発表

交流会発表 I 環境部会 2050年のC N対策と提言

参加企業4社により、カーボンニュートラルに関する未来予測と対策提言を実施。

アルプススチール株、旭サナック株、西垣林業株、日東工業株 (企業名順不同)

交流会発表 II 人材部会 2040年の人材不足への対応と提言

参加企業5社により、人材不足に関する2040年の未来予測と対策提言を実施。

名糖産業株、新東工業株、トーテックアメニティ株、ダイセー倉庫運輸株、

株サガミホールディングス (企業名順不同)

- ・論文発表

第一会場

「将来の人材不足に備える人事ポリシーの再構築」

コンサルタント 小久保 宏樹

「未来のものづくり人材」

主任コンサルタント 鈴木 宏昌

コンサルタント 高橋 拓也

「未来を切り開く人材を見極めるアセスメント」

主任コンサルタント 小栗 義裕

第二会場

「サプライヤー企業のカーボンニュートラル～自社製品のL C A ・ C F Pへの対応～」

主任コンサルタント 黒田 啓介

コンサルタント 木村 耕太

「カーボンニュートラル (C N) による経営革新」

主席コンサルタント 梶川 達也

上席主任コンサルタント 丸田 大祐

「『未来への挑戦』をどのように行うか？

～中小企業における考え方・進め方および実践事例～」 主任コンサルタント 橋本 豊

2. セミナー事業（企業内）（598件）

(1) 生産・業務改革コンサルティング事業部

階層別研修およびテーマ別研修を顧客と共に企画・実施。

- ・階層別研修（新入社員研修、リーダー研修、管理職昇格前／後研修）
- ・国際標準規格解説研修（ISO 9001、14001、27001、45001、IATF 16949、VDA 6.3）
- ・作業標準化、生産性向上、リードタイム短縮、自動化などの生産改善研修
- ・工程内品質保証、小集団活動、QC手法などの品質管理研修
- ・設計管理技法、統計解析などの手法研修
- ・DX推進などの生産現場及び間接業務のデジタル技術研修
- ・労働安全衛生研修、品質不正防止などのコンプライアンス研修
- ・なぜなぜ分析、仕事の教え方、タイムマネジメントなどのビジネススキル研修

(2) 経営革新コンサルティング事業部

1) 総合

①階層別

管理・監督者向けから中堅社員・新入社員向けまで、階層ごとの基礎スキル研修を企業内および官公庁で実施。コロナ禍以降Web研修を希望されることが格段に増え、Web・リアルの研修を組み合わせたハイブリッド型研修を実施。

変化に柔軟に対応し、自社を牽引できる新たなタイプの管理者を育成する研修ニーズが増加し、選抜型「次世代リーダー研修」（半年間）などを実施。

シニア社員の増加やその活性化ニーズを受け、定年または役職定年後の働き方を本人が再設計する「シニア向けセカンドキャリア研修」を実施。

- ・次世代リーダー（経営者育成）研修
- ・管理者研修
- ・監督者研修
- ・中堅社員研修
- ・若手社員研修

②特定層向け対人研修

評価者研修や目標管理導入研修のほか、人材確保・育成ニーズの高まりを受け、キャリア計画策定やOJT、コーチングをテーマにした研修が増加。

- ・人事評価研修
- ・面談、コーチング研修
- ・キャリア計画指導研修（管理者）
- ・キャリア計画策定研修（本人）
- ・目標管理指導者研修（上司）

- ・目標管理研修（本人）
- ・OJT研修、OJTリーダー研修
- ・社内講師養成研修、新入社員育成担当研修

(3) マネジメント研修事業部

1) マネジメント研修部

①階層別

経営者から新入社員まで様々な階層が対象。

- ・経営幹部候補生育成研修
- ・新任管理者研修
- ・職長教育研修
- ・生産部門の選抜部課長を対象とした中核人材研修
- ・中堅リーダー研修
- ・3年目社員研修
- ・新入社員研修
- ・新入社員フォローアップ研修
- ・主任力アップ研修
- ・5年目ステップアップ研修
- ・管理職育成 初級
- ・若手社員研修
- ・管理職昇格要項研修
- ・中堅社員研修

②テーマ別

企業の様々な課題や要望に合わせて実施。

- ・コミュニケーション
- ・リーダーシップ
- ・アンガーマネジメント
- ・IE基礎
- ・面談スキル講習
- ・商品企画開発
- ・営業マナー
- ・品質管理基礎
- ・プロジェクトマネジメント
- ・財務諸表の読み方
- ・設計マネジメントの実務と要点
- ・なぜなぜ&FTA&FMEA
- ・CAE解析
- ・営業スキルアップ

- ・折衝力交渉力
- ・与信債権管理
- ・海外赴任者
- ・1on1ミーティング基礎
- ・ファシリテーション
- ・ほめ方叱り方
- ・面談スキル講習
- ・ビジネスマナー
- ・人事評価
- ・採用面接のポイント
- ・T W I
- ・自立型人財育成
- ・ロジカルシンキング
- ・設計の不具合、後戻り防止
- ・変化点管理の考え方
- ・自動化機械保全
- ・Q C サークル管理者研修
- ・女性リーダー
- ・ハラスメント
- ・部門長ダイバーシティマネジメント
- ・資材調達、購買部門の業務効率向上
- ・報連相
- ・品質保証の考え方

2) ISO研修部

事前打ち合わせを行い、各社のニーズに応じてカリキュラムを作成し実施。その他各種規格の解説研修／内部監査員養成研修など基本研修を中心に、実施状況やご要望に沿い、講師現地派遣／オンライン双方にて対応。

- ・ISO9001
- ・IATF16949
- ・VDA
- ・ISO14001
- ・ISO45001
- ・ISO27001
- ・HACCP
- ・JFS-A/B（移行支援）
- ・BCP
- ・SDGs/GX

- ・Pマーク審査協力
- ・ビジネススキル

(4) マネジメント開発事業部

1) 生産・業務革新推進部

①階層別

オンラインでの一部実施や録画での事前学習を追加して、効果的に実施。

- ・実践フォアマン研修
- ・問題課題解決型係長研修
- ・階層別生産人材教育（主任研修・班長研修）
- ・管理者のための問題解決力向上
- ・中堅リーダー研修
- ・管理者マネジメント
- ・新人向けモノづくりの基本
- ・若年向け問題解決の基本

②テーマ別

- ・標準作業と改善
- ・ジャスト・イン・タイム実践
- ・ものづくりの仕事の仕組みと生産性向上
- ・工程内品質保証の進め方
- ・成果を上げる業務改善
- ・事故を無くす安全衛生活動
- ・企業価値を上げるための財務管理
- ・係長のための面談スキル向上
- ・職場運営とコミュニケーション
- ・メンタルヘルスマネジメント
- ・問題解決の進め方の基本
- ・なぜなぜ分析の進め方
- ・ダイバーシティマネジメント
- ・製造業で働く新入社員研修
- ・フォアマン向け研修

③女性活躍推進

- ・モノづくり現場で働く女性のためのリーダー育成

2) 経営革新推進部

①階層別研修

- ・部長職研修
- ・課長職研修
- ・係長職研修

- ・監督者研修

②テーマ別研修

- ・人事評価者研修
- ・管理職のコミュニケーション研修
- ・生産現場における工程管理の重要性と事例紹介
- ・原価管理と工場改善研修

(5) 東京事業部

直接会場にて実施する企業内セミナーに加え、オンラインによるセミナーを取り入れながら、事業を展開。

- ・C A P（中産連アセスメントプログラム）による経営者・管理者・監督者・リーダーの階層別企業内教育
- ・アクションラーニング
- ・人事考課者訓練
- ・昇格者研修
- ・幹部候補社員研修コース
- ・ケースメソッド
- ・自律的な職場づくり人づくりのための研修
(新入社員、若手・中堅社員、職場リーダー育成、自律を高める部下・後輩指導力強化、チームマネジメント、管理職)
- ・5S、ファイリング
- ・V M（見える経営、目で見る管理、見える目標管理等)
- ・在庫削減
- ・品質管理
- ・食品衛生管理
- ・S D G s
- ・I S O 9001と14001の内部監査員養成

(6) 社会貢献事業部 受託業務部

ミカタプロジェクト（自動車部品サプライヤー事業転換支援）

経済産業省の「ミカタプロジェクト」の地域支援拠点事業（愛知県／三重県／岐阜県が対象）を受託。企業からの相談を受け、コーディネーターが対応し、専門家を派遣してハンズオン支援を実施。

3. セミナー事業（公開）(428件)

(1) 経営革新コンサルティング事業部

1) 経営後継者育成塾

同族企業トップの後継者を育成する研修として50年以上の運営実績を有する。既に実務に就いている若手経営管理者を対象に実施。

- ・開催期間：令和5年4月～令和6年3月
 - ・開催回数：全48回
- 内容は経営のあり方や事業戦略、事業継承などの座学や企業訪問が主体であるが、リーダーシップ診断や個別の指導フォロー。また受講者による成果報告会も実施。

2) 人材確保の競争力向上

採用環境の激化で苦心する経営者、人事部門責任者の支援を目的に、人事制度や運用改革の実務研修を実施。

第1回（採用力）：2月15日(木)

第2回（活性化力）：2月20日(火)

第3回（定着力）：2月27日(火)

(2) マネジメント研修事業部

1) マネジメント研修部

①中小企業診断士登録養成課程

中小企業に経営診断及び経営のアドバイスを実施する中小企業診断士を養成するために、平成19年より中小企業診断士登録養成課程を開講。講座開講以来、通算320名超の修了生を輩出。

②公開研修

[階層別]

取締役研修、部長研修、課長研修、係長研修、主任研修

[階層別（製造部門）]

製造幹部研修、製造管理者研修、製造監督者研修、製造現場中堅社員研修、新任班長研修、T W I 監督者訓練、現場リーダー実践研修

[新入社員]

新入社員基礎実務研修（共通・部門編）、新入社員フォローアップ研修、新入社員オンライン研修

[工学基礎]

製図技能教室、機械設計製図教室、図面の見方・読み方研修、電気回路図面、幾何公差設計、板金樹脂切削、金属疲労の基礎、材料構造力学、樹脂材料、金属材料、ゴム材料、樹脂成型、鉄鋼材料

[設計スキル]

D R B F M 手法、製品コンセプト、工程 F M E A

[生産・製造]

トヨタ物流方式、新任監督者部下の扱い方、生産管理の基本、なぜなぜ分析、問題解決 S T E P 、5S + 目で見る管理、現場改善、物流改善

[品質]

ヒューマンエラーとポカミス、品質造り込み強化、Q C 的な仕事の進め方、Q A ネットワーク、Q C 7つ道具、工程内品質保証、品質管理の考え方

[原価・V E]

原価のしくみ

[購買・調達]

購買外注担当の基本、見積データの上手な活用法、調達コストダウンと値下げ、下請法、購買部長・課長

[営業]

セールストーク、営業マネージャー、営業アシスタント、価格競争・営業力向上、受注を勝ち取る価格設定と原価見積、与信管理、上手なコストダウン、営業折衝力・交渉力、クロージング営業、デジタルマーケティング

[コミュニケーションスキルアップ]

コミュニケーションマナー、業務改善力、若手報連相、管理者報連相、働きやすい職場5つの取り組み、チーム力アップコーチング、アンガーマネジメント、ほめ方・叱り方

[ビジネススキルアップ]

秘書研修、「考える力」育成、P D C Aサイクル、P C 時短活用術、接遇実務、仕事の教え方、意思決定力、行動力向上、ファシリテーション、管理者の課題設定、問題発見と解決力、スケジュール管理

[I Tスキル]

I Tリテラシー研修、I O T×作業改善実践研修、R P A×業務改善、データ分析、サイエンス、D X、ネットワークセキュリティ

[財務・総務・貿易]

貿易基礎実務、簿記、決算書の見方、契約書の基礎、年末調整、人事制度の運用と改革

③フォーラム・大会

・第55回中部V E大会（中部V Eカンファレンス）

（株）Leaner Technologies、豊和工業株、三菱重工機械システム株、立命館大学、（株）I H I等、価値向上に取り組んでいる幅広い企業がイノベーションの種やコストダウンのヒントについて講演。会場、オンラインのハイブリットにて開催。

・愛知県×中産連 自動車産業フォーラム2024 最新技術講座

自動車産業の今後の方向性、注力すべき技術開発・ビジネス分野について、日本を代表する自動車メーカー・部品メーカー各社の第一線技術者が解説。愛知県との共催でオンラインにて実施。

講演企業・団体：愛知県、トヨタ自動車株、（株）デンソー、三菱自動車工業株、マツダ株、現代自動車株、名城大学、名古屋大学

・2024年度 中産連 人材育成フォーラム

次年度の「人材育成のあり方」に関する講演・企業事例と中産連の研修事業計画の紹介

開催方法：会場、オンライン配信

会場開催：令和5年12月7日(木)

配信期間：令和6年1月22日(月)～2月5日(月)

内 容 :

【基調講演】

「これから時代に必要な、チームを導くリーダーの秘訣」

武藏野大学 アントレプレナーシップ学部 学部長／Musashino Valley 代表

L I N E ヤフーアカデミア学長／Voicyパーソナリティ 伊藤 羊一氏

【企業事例①】

「C A S E 時代の人財育成リスクリング戦略

～保有人財のリスクリング＆アップスクリング～」

愛三工業株 電動システム開発本部 本部長 福森 英夫氏

【企業事例②】

「パナソニックが目指す人的資本経営」

パナソニック株 取締役 常務執行役員 C H R O 加藤 直浩氏

④研究会

- ・中部V E 研究会（通年／V E 大会、専門部会を開催）

企業価値の向上を目指す中小企業に親しみやすく、活用しやすいV E の普及を目的に幹事会の運営、専門部会の開催、大会（価値向上フォーラム）を開催。

- ・第43期ヤング・エグゼクティブ・フォーラム

数字を体系的に理解できる経営者・経営幹部を育成するとともに、異業種交流の機会を提供し、専門家による新しい認識の発見、メンバー相互の業種・職種紹介を通じて、格好の人脈形成の場となるフォーラムとして実施。年間12回のプログラム。

⑤受託事業

愛知県 技能承継支援事業

- ・中小企業技能継承支援セミナー
- ・伴走型支援

大垣市

- ・若手人材確保促進セミナー開催事業
- ・I o T 導入促進セミナー開催事業

2) I S O 研修部

日本で唯一V D A - Q M C （ドイツ自動車工業会品質管理センター）から認定を受けたV D A 規格のフォーマルトレーニングコース実施機関として常にV D A - Q M C と連携し幅広くセミナーを実施。特にV D A 6.3は令和5年1月の改訂を受け、アップグレードトレーニングの需要が増加。

各種規格の解説研修や内部監査員研修、V D A 研修など来場／オンライン双方で、また、ビジネススキル／営業研修は、この5月よりハイブリッドを中心に実施し、集客数を伸ばした。

① I S O 9001関連

- ・規格解説
- ・内部監査員研修【開催地：名古屋、浜松】
- ・I A T F 16949規格解説／内部監査員コース

- ・ V D A - Q M C 各種公式コース
(6.3監査員 新規・更新・アップグレード／コアツール／F M E A 基礎／6.5／2／M L A／19.1／19.2／P S C R ／T I S A X／M M O G／I A T F 16949 1st 2nd 新規・更新)
 - ・ V D A 6.3規格概説セミナー
- ② I S O 14001関連
- ・ 規格解説
 - ・ 内部監査員研修【開催地：名古屋、浜松、静岡】
- ③ I S O 45001（労働安全衛生マネジメントシステム）
- ・ 規格解説／内部監査員研修
- ④ I S O 27001（情報セキュリティマネジメントシステム）
- ・ 規格解説／内部監査員研修
- ⑤ J F S - A / B ・ I S O 22000（食品安全マネジメントシステム）
- ・ 規格の解説／内部監査員
 - ・ 食品安全研修（食品安全マネジメント協会認定）
- ⑥ B C P（事業継続計画）
- ・ 概要説明／構築実践研修
- ⑦ 知的財産
- ・ 知的財産権を活かすための技術関連契約の基礎知識
 - ・ 知的財産権とその戦略的活用の基礎知識
 - ・ 特許、実用新案、意匠、商標の基礎から応用
- ⑧ ビジネススキル
- ・ 「論理力×説明力」が身につくロジカルシンキング
 - ・ 「段取り」上手の仕事術
 - ・ 「伝える力」養成トレーニング
 - ・ 「女性リーダー」の仕事術
 - ・ 「プレイングマネージャー」の仕事術
- ⑨ 営業
- ・ 「差別化営業」のノウハウと実践
 - ・ 受注拡大、新規獲得のための「戦略営業」の進め方
 - ・ 対面×オンラインの「時短&効率営業術」
 - ・ 「チーム戦略営業」の実践と展開
 - ・ 「課題把握力&提案力」強化研修

公　開　研　修　実　績　表	延参加人数(名)
I S O9001	433
I A T F16949 (含 勉強会)	314
V D A関連コース (I A T F 1 st 2 nd、6. 3、6. 5、コアツール 他)	1, 006
I S O9001～V D A (計)	1, 753
I S O14001	445
I S O45001	27
I S O27001	17
J F M S ・ I S O22000 (H A C C P)	33
B C P	30
知的財産	9
I S O14001～知的財産 (計)	561
ビジネススキル	910
営業	46
総　合　計	3, 270

⑩ V D A - Q M C 更新申請代行事業

V D A 6. 3監査員／I A T F16949 1 st 2 nd監査員 更新申請代行業務

⑪ 書籍販売事業

V D A規格の邦訳版に関し、独占販売権を有している。

(3) マネジメント開発事業部

1) トヨタ生産方式関連

[トヨタ生産方式研究会P A R T I] (参加者275名)

～研究会概要～

- ・特別講演「トヨタ生産方式の本質」

　　講演者 トヨタ自動車株 T P S本部 本部長 尾上 恭吾氏

- ・P A R T I 「改善の進め方」講座

　　講 師：トヨタ自動車株 T P S本部 本部長 尾上 恭吾氏

　　生産調査部主査 男沢 祐二氏 ほか6名

[階層別]

- ・実践！「T P Sに基づくフォアマン研修」
- ・生産技術マン養成講座

[テーマ別]

- ・「標準作業と改善」実習
- ・ジャスト・イン・タイム実践研修

- ・儲かる生産保全
- ・実務に強い！原価マン養成講座 実践編・応用編
- ・なぜなぜだけでは不十分!? 問題発見・問題解決の進め方
- ・モノと情報と時間の流れ図の描き方と活かし方
- ・女性現場リーダー養成研修

2) 第14期 木曽駒塾 (参加者29名)

中部産業界から優れたリーダーを輩出したいという経営者の方々の想いにより、未来の中部産業界を担う高い志を持ったリーダーを育成することを目的に実施。

【日程・講師】

第1会合 8月28日(水) ホテルメルパルク名古屋

- ・発起人&第1講 J.フロント リテイリング(株) 特別顧問 岡田 邦彦氏
- ・第2講 (一社)中部産業連盟 会長 伊奈 功一

第2会合 10月3日(火)～4日(水) ホテルトヨタキャッスル

- ・第3講 ブラザー工業(株) 名誉相談役 安井 義博氏
- ・第4講 株メニコン 代表執行役会長 田中 英成氏
- ・第5講 東海東京フィナンシャル・ホールディングス(株)
代表取締役会長 石田 建昭氏

- ・第6講 トヨタ自動車(株) 元副社長 佐々木 真一氏

第3会合 12月5日(火) ウインクあいち

- ・第7講 大同特殊鋼(株) 相談役 嶋尾 正氏

第4会合 1月26日(金) ウインクあいち

- ・第8講 東海旅客鉄道(株) 顧問 須田 寛氏
- ・第9講 中部電力(株) 代表取締役会長 勝野 哲氏

第5会合 3月6日(水) ホテルメルパルク名古屋

- ・最終成果発表会

【コーディネーター】

明治大学 専門職大学院 グローバル・ビジネス研究科 教授 野田 稔氏

3) 第15期 管理能力向上プログラム (参加者16名)

年間を通じて、「人」あるいは「組織」を対象として自部門さらには他部門を巻き込んだ部門間連携により問題や課題を解決していく「管理」を学ぶ。

4月より3月迄の12回開催のうち、上期は自部門の問題解決について、下期は部門間組織運営の課題に取り組んだ。

4) 第8期 経営を担う次世代リーダー塾 (参加者12名)

(株)デンソー元専務取締役、アスモ(株)元取締役社長を歴任された花井嶺郎氏を講師に迎え、氏のこれまで培ってきた実務及びマネジメント経験をもとに、参加者の直面する課題解決へのヒントを探り、自社成長に繋げていくことを目的として開催。

5) 第2期 ものづくり I T ブリッジ人材育成プログラム

内容

- ・ I T ものづくり人材像の理解と生産工程の把握
- ・ 模擬ラインを使ったカイゼン演習 データ活用の実際
- ・ I T 技術をフル活用する着眼
- ・ I T 、 I o T 機器の実際 現座最前線の見学
- ・ シミュレーターによる生産最適化 情報セキュリティ費用対効果の検討
- ・ 実践計画の立案
- ・ 実践報告会

6) メンタルヘルス関連

- ・ 部下育成のために何ができるか

7) 「原点回帰」事業

社会の変化を捉え「ものづくりの価値創造の仕組み」の再構想に繋げる契機を提供し、その上で今すべきことへの各種プログラム提供に繋げていく。

- ・ 新たな価値を生み出す『両利きの経営』のススメ 講演会（11月22日）

- ・ イノベーションを生む基盤『既存事業の稼ぐ力』の強化（1月31日）

新事業の創出の土台となる『見えない資産』の追求 事例研究会

事例 I 株メニコン 伊藤 恵利氏

事例 II 荒川工業株 常務取締役 宮地 康市氏、代表取締役社長 杉谷 卓志氏

（4） 東京事業部

1) 講演会・大会

講演会・大会	テーマ（内容）	開催日	開催場所	講師名 (発表企業名)	参加者数
VMカイゼン事例 発表大会（第16回）	中産連七十五周年 記念大会「信頼され、選ばれるサプライヤーのための目で 見る品質管理」	令和5年 10月10日	アルカディア 市ヶ谷 +zoom (オンライン)	【講演】 中部産業連盟 会長 伊奈 功一 【事例発表】 株タニコー 王子タック株	212

2) 公開セミナー

① 生産・I S O 関連

- ・ まるごと5S 展開&定着
- ・ 5S レベルUP & 体質改善
- ・ 5S が徹底できなければ、D X ・ 生産管理システムはうまくいかない！
- 情報とモノの情物一致を実現させる5S の取り組み方とは
- ・ 強い現場が実践している！ 目で見る管理・5S の成功法則
- ・ オフィス生産性向上のための5S ・ ファイリング活用
- ・ 工場全部門の目標管理・K P I 管理レベルアップ

- ・製造リードタイム短縮・在庫削減
- ・組立ブロックを使用した体験型2S（整理・整頓）
- ・労働安全／安全衛生活動活性化
- ・生産性の高い新工場建設計画＋レイアウト設計の進め方
- ・工場まるごと管理・改善 実践
- ・作業標準の整備・管理・活用・改善／実践
- ・次期幹部による中期経営計画策定・運用 実践
- ・ISO9001内部品質監査員養成1日コース
- ・ISO14001内部環境監査員養成1日コース
- ・5Sの進め方
- ・ものづくり原価
- ・オフィス業務改善
- ・IE手法の基礎

②人材マネジメント関連

- ・真の「気づき」を促すマネジメント研修の進め方
- ・真の気づきを促すための「インバスケット演習の進め方」
- ・自律型人材育成・これだけは教えたい

3) 工場見学会

VMに対する理解を深め、VMを普及していくために、VM先進企業の工場・オフィス見学会を開催。

- ・カナエ工業株
- ・株三栄製作所
- ・扶桑工業株
- ・大橋機産株

(5) 社会貢献事業部 受託業務部

三重県の自動車部品サプライヤーの業態転換を支援する「三重県自動車サプライヤー業態転換等支援業務委託」事業を受託。

刈谷市の中小企業の人材育成を目的とした「パワーアップセミナー」「デジタル技術活用見える化セミナー」を受託。

4. 国際協力事業（5件）

経営革新コンサルティング事業部 第2部

（独）国際協力機構（JICA）、（一財）海外産業人材育成協会（AOTS）、（独）エネルギー・金属鉱物資源機構（JOGMEC）、（一社）日・タイ経済協力協会（JTECS）などから受託、受入研修および講師派遣を実施。

(1) 国内での活動（受入研修）

コース名	期間	実施機関
青年研修「中小企業振興B」	9月27日～10月12日	JICA
課題別研修「企業経営強化支援（ビジネス開発サービス／アドバンスト・カイゼン）（A）」	12月28日～3月18日	JICA

(2) 国内での活動（講師派遣）

コース名	期間	実施機関
泰日工業大学教員に対するリモート講義	10月3日～10月4日	JTECS
チームビルディング研修	10月10日	JICA

(3) 海外での活動（講師派遣）

案件名	期間	実施機関
インド中小企業向け日本式ものづくりの普及支援	9月10日～9月18日	AOTS

5. 受託事務局事業（5件）

(1) マネジメント開発事業部

日本経営管理標準（JMS）推進機構

JMS推進機構各種会合の運営、およびワーキング活動の運営、Web診断・経営革新ツールを使った中小企業支援を実施。

- ・企画委員会
- ・ワーキング活動第2期

(2) 社会貢献事業部 受託業務部

1) 環境パートナーシップ・CLUB（通称：EPOC）

環境パートナーシップ・CLUBは、産業界の環境オピニオンリーダーが中心となり、企業が培ってきた環境の技術・わざとパートナーシップを活かし、循環型経済社会の構築を目指し多種多様な活動に取り組んでいる（平成12年2月17日設立）。

〈主な活動〉

- ・環境行動の社会への浸透活動
- ・環境マインドに溢れた社会風土づくり活動
- ・環境行動に関する情報発信活動
- ・環境活動に関する国際交流活動

上記、諸活動を通じて中部圏から環境対応に関する様々な情報発信を行い、世界に誇れる環境先進地域の形成を目指している。

EPOCでは、各分科会が観察、セミナー、勉強会、総合学習支援等を企画・運営している。中産連は総合事務局としてこれらをサポートするとともに、会計事務機能として活動を支援。

①2023年度総会

と き：令和5年7月13日(木)

ところ：名古屋東急ホテル3階「パロックの間」

議 案：2022年度活動報告及び収支決算、2023年度活動計画及び収支予算、規約変更

参加者：193会員

その他：基調講演会「企業のカーボンニュートラル達成に向けた対応策」

東京工業大学 科学技術創成研究院 特任教授 秋元 圭吾氏

②理事会

第48回理事会

と き：令和5年7月13日(木)

ところ：名古屋東急ホテル3階「錦の間」

議 案：2022年度事業報告及び収支決算、規約変更

参加者：35名

第49回理事会

と き：令和6年2月14日(水)

ところ：ホテルメルパルク名古屋2階「平安」

議 案：2023年度活動進捗報告、2024年度活動計画、2024年度役員候補選任 他

参加者：33名

③幹事会

第54回幹事会

と き：令和5年5月31日(水)

ところ：ホテルメルパルク名古屋3階「カトレア」

内 容：第48回理事会提出議案の審議

参加者：28名

第55回幹事会

と き：令和5年12月21日(木)

ところ：サイプレイスガーデンホテル3階「パルティールグラン」

内 容：第49回理事会提出議案の審議

参加者：23名

④E P O C フォーラム

と き：令和5年11月2日(木)

ところ：ホテル名古屋ガーデンパレス

内 容：基調講演「水素の現状と今後の展開」

九州大学 副学長 水素エネルギー国際研究センター長 佐々木 一成氏

事例紹介1「水素関連実証事業など事例紹介」

株大林組 執行役員 技術本部 副本部長 伊藤 剛氏

事例紹介2「カーボンニュートラル社会の実現に向けたE N E O S の取り組み」

ENEOS株 中央技術研究所 首席研究員 菅野 秀昭氏

参加者：94名

⑤意見交換会

第31回 意見交換会

と き：令和5年5月31日(木)

ところ：ホテルメルパルク名古屋2階「平安」

テーマ：「アイシングループ 環境の取り組み」

参加者：103名

第32回 意見交換会

と き：令和5年12月21日(木)

ところ：サイプレイスガーデンホテル2階「天舞の間」

テーマ：「荏原グループの環境への取り組み “技術で、熱く、世界を支える”」

参加者：91名

⑥E P O C 観察

と き：令和5年10月11日(木)～12日(木)

観察先：N P O 法人北海道エコビレッジ推進プロジェクト、(株)N I K I H i l l s ヴィレッジ、五洋建設株室蘭製作所、日本製鉄株北日本製作所 室蘭地区、トヨタ自動車北海道株

内 容：「余市、室蘭、苫小牧方面 自然共生・脱炭素・資源循環などの取り組み調査」

参加者：36名

⑦分科会活動

2030年ビジョンの考え方を基に、環境経営分科会、低炭素分科会、資源循環分科会、自然共生分科会、地域共生チーム、次世代交流チーム、海外チームにより、セミナー・研究会・視察等を実施。

(環境パートナーシップ・C L U Bの役員と会員数)

会長 小池 利和 (プラザー工業株 取締役会長)

副会長 篠原 幸弘 (デンソーアシスタント 副社長)

副会長 小林 茂 (日本ガイシ株 代表取締役社長)

副会長 増田 信之 (東邦ガス株 代表取締役社長)

副会長 勝野 哲 (中部電力株 代表取締役会長)

副会長 森 厚人 (東海旅客鉄道株 代表取締役副社長)

副会長 寺師 茂樹 (トヨタ自動車株 Executive Fellow)

総合事務局長 小坂 信之 ((一社)中部産業連盟 専務理事)

副総合事務局長 関根 明郎 ((一社)中部産業連盟 理事 社会貢献事業部事業部長)

ほか理事11名 監事2名 顧問9名

年間予算規模 約59,000千円、会員数254社 (者) (令和6年3月末日現在)

2) 日本設備管理学会本部、東海支部

①学会本部

・2023年度社員総会

と き：令和5年6月26日(月)

ところ：(一社)中部産業連盟内会議室

議 案：2022年度事業報告、収支決算報告の承認の件 他

参加者：19名

・理事会

第1回理事会

と き：令和5年5月25日(木)

ところ：(一社)中部産業連盟内会議室

議 案：代議員選挙進捗、社員総会、春季研究発表大会、H P改定の件 他

参加者：12名

第2回理事会

と き：令和5年12月4日(月)

ところ：(一社)中部産業連盟内会議室

議 案：講習会企画提案、秋季研究発表大会報告、財務報告 他

参加者：15名

第3回理事会

と き：令和6年2月6日(火)

ところ：(一社)中部産業連盟内会議室

議 案：役員改選、会長選出、春季研究発表大会進捗、学会賞選考進捗 他

参加者：16名

・研究発表大会

2023年度春季研究発表大会

と き：令和5年6月19日(月)

ところ：千葉工業大学 津田沼キャンパス (オンライン開催)

テーマ：「設備システムの信頼性とセキュリティ」

参加者：66名

2023年度秋季研究発表大会

と き：令和5年10月30日(月)～31日(火)

ところ：西日本総合展示場 新館A I Mビル3階会議室

九州旅客鉄道(株)小倉総合車両センター

テーマ：「DX時代におけるスマート保全の在り方」

参加者：118名

・2023年度代議員選挙

開票日：令和5年6月2日(金)

ところ：(一社)中部産業連盟内会議室

②東海支部

・令和5年度支部総会

と き：令和5年5月26日(金)

ところ：名古屋工業大学（リモート開催）

議 案：令和4年度東海支部事業報告、収支決算報告の承認の件 他

参加者：59名

・令和5年度 第25回設備保全シンポジウム

と き：令和5年10月13日(金)

ところ：愛知工業大学 自由ヶ丘キャンパス

テーマ：「設備保全を中心に伝承の効率化への対策」

参加者：33名

・第11期 保全技能基礎講座

と き：令和5年10月26日(木)、11月16日(木)、12月8日(金)、

令和6年1月25日(木)

ところ：N T N株桑名製作所、荒川工業株、川北電気工業株名古屋工場 他

内 容：保全技能に関する基礎学習および現地現物での工場実習

参加者：8名

・令和5年度 学生研究発表会

と き：令和6年2月28日(水)

ところ：名古屋工業大学 2号館2階0231室

内 容：発表件数11件

特別講演「経済・経営学的視点から『E S G』について考える！」

(3) 管理本部 広報部

日本広報学会中部部会

II. 業 務 報 告

1. 会 勢

令和6年3月末日現在の会員数は654社（入会11社、退会35社）

2. 会 議

(1) 総 会

令和5年度定時総会

- ・日 時：令和5年6月13日(火)
- ・会 場：名古屋東急ホテル 3階「パロックの間」
- ・出席会員：453会員（書面表決権行使による出席も含む）

中部経済産業局 地域経済課長 臨席

1) 報告事項

- ①令和4年度事業報告の件
- ②令和4年度公益目的支出計画実施報告の件
- ③令和5年度事業計画及び収支予算の件

2) 議 案

次の議案を承認

第1号議案 令和4年度計算書類（附属明細書含）承認の件

第2号議案 令和5年度 理事選任（交替）の件

第3号議案 令和5年度 評議員（交替）選任の件

3) 報告事項

- ①令和5年度審議役委嘱の件

(2) 理事会・審議会

第306回理事会・第34回審議会

- ・日 時：令和5年5月22日(月)
- ・会 場：名古屋東急ホテル4階「雅の間」およびリモート開催
(Microsoft TeamsによるWeb会議形式)

・出席者：理事13名（うちリモート出席3名）、監事1名、相談役2名、審議役7名（うち代理出席3名）

中部経済産業局 地域経済課長 臨席

1) 議 案

次の議案を承認

第1号議案 令和4年度事業報告、計算書類及び公益目的支出計画実施報告の承認の件

第2号議案 定時総会の日時及び場所並びに目的である事項の件

第3号議案 令和5年度審議役選任（交替）の件

第4号議案 令和4年度下期新規入会会員の承認を求める件

2) 報告事項

①会長、副会長、専務理事の職務執行に関する状況報告

第307回理事会・第35回審議会

・日 時：令和5年11月20日(月)

・会 場：名古屋東急ホテル 4階「雅の間」

・出席者：理事12名、監事1名、審議役7名（うち代理出席5名）、相談役1名

中部経済産業局 地域経済課長 臨席

1) 議 案

次の議案を承認

第1号議案 令和5年度上期新規入会会員の承認を求める件

第2号議案 令和5年度審議役選任（交替）の件

2) 報告事項

①令和5年度上期実施事業ならびに収支実績報告の件

②訃報について

第308回理事会・第36回審議会

・日 時：令和6年3月18日(月)

・会 場：名古屋東急ホテル 3階「錦の間」

・出席者：理事11名、理事代理出席2名、監事1名、審議役8名（うち代理出席5名）、相談役1名

中部経済産業局 地域経済課長 臨席

本理事会は理事定数22名に対し、理事本人出席が11名と定足数である過半数の12名を満たさなかつたため報告のみを実施。令和6年3月21日、会長伊奈功一が理事全員に対して理事会の決議の目的である事項について下記の内容の提案を発し、また監事の全員に対して当該提案に対する異議の有無を確認する提案書を発したところ、当該提案につき、理事の全員から書面により同意の意思表示を得るとともに、監事の全員から書面により異議を述べない旨の回答を得たので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第96条及び定款第37条第2項に基づく理事会の決議の省略により、当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなされた。審議役にも資料送付。

開催日時及び開催場所

決議の省略の方法により行う。

同意書提出理事数 22名 (理事現在数 22名)

確認書提出監事数 2名 (監事現在数 22名)

議 案

第1号議案 令和6年度事業計画および収支予算案の件

第2号議案 令和5年度審議役選任（交替）の件

理事会の決議があつたものとみなされた日 令和6年3月31日

(3) 評議員懇談会

第15回評議員懇談会

・日 時：令和6年2月22日(木)

懇談会（令和6年度 主要事業、新規事業説明）

- ・会 場：名古屋東急ホテル 3階「錦の間」
- ・出席者：会長、評議員17名（代理出席含）、専務理事、常勤理事1名、執行理事6名

3. 庶務

(1) 内閣府への申請

令和5年6月20日付、内閣府へ申請（公益目的支出計画実施報告書等の提出）、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第127条第3項により公益目的支出計画実施報告書等を提出。

(2) 登記事項

令和5年7月11日付で名古屋法務局へ理事変更を登記した。

(3) 職員の状況

令和6年3月末日現在の正職員は男性74名、女性30名の合計104名である。

4. 協力活動

(1) 外郭団体・研究会等に対する協力

連盟が業務を受託、または協力している団体は下記のとおりである。

- ・経営企画士会 ((公社)全日本能率連盟登録)
- ・(一社)日本設備管理学会 本部、東海支部
- ・日本広報学会 中部部会
- ・環境パートナーシップ・C L U B (E P O C)
- ・日本経営管理標準 (J M S) 推進機構

(2) 関連法人

- ・中産連ビルディング(株)
- ・(株)リーム中産連

5. 役・職員の対外的協力活動

小坂 信之

(公社)全日本能率連盟 理事・会長

経済産業省関係公益法人企業年金基金理事・代議員

(一社)科学技術と経済の会運営委員会委員

J M S 推進機構専務理事

環境パートナーシップ・C L U B (E P O C) 総合事務局長

愛知環境賞選考委員会委員

あいち地域循環圈形成プラン推進会議委員

なごや環境大学実行委員会委員

あいちゼロカーボン推進協議会理事

梶川 達也

中部大学非常勤講師

エネルギー使用合理化専門員

全国エネルギー管理士連盟 監事

品質保証機構 G A P 認証委員会 委員

柘植 吉則

桜山女子学園大学 非常勤講師

石原 聖治

全日本能率連盟 資格認証・認定審査会 委員

寒河江 克昌

全日本能率連盟 資格認証審査委員会 委員

6. 会員支援

(管理本部 広報部)

(1) プログレス（中産連機関誌・月刊マネジメント専門誌）の発行（別表①参照）

新しいマネジメントの提言、企業戦略の紹介など実践的内容で高い評価を得ており、毎号、テーマを絞った特集方式で編集することで、会員企業の関心の高いテーマを特集として企画、また、識者によるコラムのコーナーを設置。

また、本年は中産連創立75周年記念企画として、「リーダーが語る未来のビジョン」をテーマに、中部地区を代表する6名の経営者の方々のインタビュー記事を掲載。

(2) 会員懇話会（会員向け無料講演会）（別表②参照）

毎回、タイムリーで話題性の高いテーマを取り上げ実施。

(3) 経営・法務相談室（無料）

経営全般に関する無料相談と企業法務に焦点を当てた経営・法務の無料相談室には、これまでそれぞれの時代を反映した相談等が寄せられており、今期も経営課題・問題解決の窓口を開設。

(4) 中産連ホームページ

当連盟団体概要の紹介のほか、新着情報コーナーなどで、さまざまな情報を提供するとともに、会員企業ホームページへのリンクサービス、セミナー申込み、コンサルティングの問い合わせ等に対応。

また、会員企業向けに機関誌『プログレス』バックナンバーのダウンロードサービス、会員懇話会の見逃し配信としてビデオ・オン・デマンドのサービスを提供。

(5) 中産連案内パンフレットの修正増刷

(6) プログレスファイルの制作

1年間発行分の機関誌『プログレス』を保管するB O Xを製作。

(7) マネジメント小冊子の発行

・『2023年度会員懇話会抄録集』（令和6年3月31日発行・700部）

・『潮流X IX』（令和6年3月31日発行・700部）

・『リーダーが語る未来のビジョン』（令和6年3月31日発行・800部）

別表① 令和5年度上期主要記事

別表① 令和5年度下期プログレス主要記事

別表② 会員懇話会

(VOD : Video on Demand)

回数	テーマ	開催日	講師	参加者数	視聴回数
第623回	宗教大国アメリカの行方と日本 ～分断が進むアメリカ社会とその影響～	令和5年 4月26日 VOD 5月15～ 21日	株中日新聞社 編集局長 寺本 政司氏	41	11会員 24回
第624回	Z世代を上手く組織になじませ、成長させるためのマネジメント ～「Z世代に選ばれる企業」に必要な条件～	5月19日 VOD 6月5～ 11日	甲南大学 経営学部 教授 尾形 真実哉氏	57	19会員 43回
第625回	未来を実装する ～いま、必要なのは社会実装のイノベーション～	6月13日 VOD 7月3～ 9日	東京大学 産学協創推進本部 FoundXディレクター 馬田 隆明氏	45	20会員 43回
第626回	中小企業におけるリスクリング ～DX時代のスキル再開発～	7月6日 VOD 7月31日～ 8月6日	(一社)ジャパン・リスクリング・イニシアチブ 代表理事 後藤 宗明氏	33	11会員 33回
第627回	生成AIの光と影 ～AI活用の最前線と内包するリスク～	9月5日 VOD 9月25日～ 10月1日	東京大学 次世代知能科学研究センター 教授 松原 仁氏	76	16会員 40回
第628回	環境覇権 ～欧州発、激化するパワーゲーム～	10月13日 VOD 11月6～ 12日	株日本経済新聞社 編集局 政策報道ユニット 経済・社会保障グループ 部次長 竹内 康雄氏	32	9会員 22回
第629回	師匠が語る、藤井聰太という才能 ～優秀な人材との接し方、伸ばし方～	11月30日 VOD 12月18～ 24日	将棋棋士 杉本 昌隆氏	66	16会員 32回
第630回	最近の内外経済情勢と2024年の展望	令和6年 1月31日 VOD 2月19～ 25日	株野村総合研究所 エグゼクティブ・エコノミスト 木内 登英氏	57	11会員 25回
第631回	未来洞察と経営 ～VUCAの時代を勝ち抜く思考法～	2月22日 VOD 3月18～ 24日	一橋大学 大学院経営管理研究科 教授 鷺田 祐一氏	49	12会員 38回
第632回	重要インフラのサイバーセキュリティ ～工場や社会インフラに迫る危機～	3月13日 VOD 4月8～ 14日	名古屋工業大学大学院 社会工学科 教授 渡辺 研司氏	53	—